

## 4 AL型授業実践報告

### 2) 地歴公民科

生徒たちの中には「社会科は暗記教科」というイメージを持っている者が多い。このために「効率の良い覚え方を教えて欲しい」とか「覚える量が多くて嫌だ」というような声を耳にすることがある。確かに一定量の知識としての暗記が必要であることは否定できない。因果関係を考えるためにはその前提となる絶対的な知識が不可欠であるからだ。このために授業ではすべての教員が小テストを定期的実施している。

しかし、中学校以来こうした暗記に頼った学習に慣れきってしまっている生徒たちは、様々な問題点を抱えていることも事実である。例えば、自分でまとめる力が身につけていない生徒が多いことが挙げられる。このため全ての内容を授業で習うことや単元のまとめを教員に期待することが多くなる。模擬試験の出題範囲に間に合わせようとする進度を早くしないと追いつかない現状でこうした生徒の実態は問題がある。また、論理的な思考力が付いていないために、全ての用語等をバラバラに暗記しようとする生徒が多い。因果関係や類似関係などを理解すればもっと効率よく正確に覚え知識を定着させられる上に、他の分野でもその関係性を応用して未習の事項も推測することができるのに、敢えて効率の悪い方法を選んでしまう。この結果、社会科に対する興味・関心を持たないまま卒業してしまう生徒が多い。

こうした観点から、AL型授業はこれらの課題解決を図るための有効な手段であると考えられる。グループ学習か講義式かは問わず、既習の内容を応用したり未習の事項を探求する中で、生徒たちは論理的な思考力を身に付け知識をより良く定着させることができるようになる。そして生徒一人一人が授業の主体となることでより多くの生徒に興味・関心を持たせることができると判断する。

#### a) 今年度の取り組み ～成果と課題～

12月時点での調査によると以下のような実践が試みられた。ここに見られるようにすべてが2～5人くらいのグループを作らせ活動させたというものである。科目・分野・方法で多様な実践が試行されている。以下にその成果と課題をあげる。

科目名	クラス	内容・方法など
日本史B	3DF 選択	江戸時代などで10回以上実施。グループ活動でホワイトボードを使いテーマに関するマインドマップを完成する。
日本史A	3DF、3E 選択者	古代から近代の復習のために、各グループを時代ごとに割り振り発表する。
世界史B	2DF、3E 選択者	「武帝の政策」、「王安石の改革」、「十字軍の歴史意義」で実施。グループ活動でテーマに関するマインドマップを完成する。
現代社会	1E、1F	①民主政治から日本国憲法の基本的性格の各小単元をグループに割り当て発表する。 ②NHKの「昔話法廷」を活用し裁判員制度に関する学習で模擬裁判を行いグループで審理を行い判決を導き出す。

すべての実践で生徒たちの意欲的な取り組みがみられたり、仲間の意見に耳を傾ける姿が目立った。生徒の感想の中には、「マインドマップを作る時やQ&Aの答えを出す時にしっかりと考えなければならないので今までよりも深く考えるようになり、歴史がただの暗記科目ではなくなりました」「マインドマップをグループの人々と協力して考えるのがとても楽しい。分からないところがあったとき教え合いができるから良い」「マインドマップは班で話し合ったことが頭に残るので良いと思います」などの肯定的な意見があった。「授業が短く感じられた」というコメントを寄せた生徒も多くいた。

また、普段大人しい生徒が仲間の前でしっかりとした意見を述べ周囲を驚かせたり、授業に消極的な態度を見せていた生徒がグループの中心となって活躍しその後の授業姿勢が激変したという事例もあった。このように、教師だけではなく生徒同士が仲間の事を再発見したり、生徒一人一人が自身を見つめ直す機会にもなったことが報告されている。

一方、課題は、一部の生徒の否定的な感想に見出せる。例えば、「進度が遅くなる」「効率よく教えてほしい」「何が大切なのか分かりにくい」といったものである。確かに、教師主導の授業に慣れ切っている生徒にとっては不満な面も多いことは想像できる。しかしこれらの課題は実践を積み重ねる中で方法が改良されるにしたがって解決されてくると判断する。むしろ、必要最低限の指導内容から生徒たちが発展的に学習する姿勢が見られ、進度が早まり学習の内容が深まったという事例もあり、教師がすべてを説明しなければならないという従来の固定観念から教師・生徒両者が脱却する好機となることが期待される。

ただし、教師がこうした活動でどのような役割を果たすべきかについては今後検討していかなければならないと考える。専門家や実践者の意見に教師は「ファシリテータに徹すべき」というコメントがみられるが、生徒や指導者の実態や内容に応じて臨機応変に対応すべきではないかと考える。特に本校のように真面目ではあるが自ら思考したり行動したりすることが苦手な生徒が多い学校では、むしろ活動のためのヒントや誘導が不可欠と思われる場合も多い。教師が柔軟な指導力を持つことが成功の鍵となると判断する。

来年度に向け研究したいのが、模擬試験で成果をどう挙げることができるかである。特に本校の生徒は記述模試でなかなか実力を発揮できない。応用問題や未知の問題に遭遇すると戦意を喪失してしまう。あるいは論述・説明問題となると白紙解答で提出してしまい部分点を稼げないというケースも多い。アクティブラーニング型授業はこうした問題に有効な手段であるはずである。従来の教授中心型授業との組み合わせを充実させることによって、成績の向上に努めたい。

## **b) 実践事例 ～3年生日本史Bの実践～**

3年生文系日本史B選択者の授業で行ったグループ活動の実践事例を紹介する。

グループは2～4人で組ませ、各グループに貸与されたホワイトボードを使って各時間の発問に関する答えをマインドマップにより考えさせる。なお、事前学習として授業範囲のプリントを前時に配付して予習してくるよう指導した。教材は教科書、資料集、用語集。発表時には多面的で根拠を明確にした論理的な発表を高く評価するとともに、発表後に発表内容に関する問いかけをし、不十分な場合には再度グループで話し合わせるなど生徒の発表がより深まるよう心掛けた。また、色チョークや矢印を効果的に使い黒板にマインドマップを完成させ用語の繋がりや分類を行いまとめとした。 (文責：今井雅)

日時	平成27年6月24日(水)1限	クラス	3年DE組(男15人、女27人)	
科目	日本史B	単元名	第7章幕藩体制の展開 2 経済の発展	
教科書	詳説日本史B(山川出版社)	副教材	日本史B用語集(山川出版社)、新詳日本史(浜島書店)	
本時のテーマ	商業の発展(貨幣と金融、三都の発達、商業の展開) Q 江戸時代に「全国市場」が確立したのはなぜか。本時:3時間目/3時間			
テーマ解答例 ※下線部はキーワード	諸産業の発達で商品生産が激増し交通が発達したことで問屋を核とした商品流通が活性化した。また蔵元・掛屋・札差などの商人が地方の年貢米や特産部を三都に集約する役割を果たし、さらに三貨交換の必要から両替商が活躍した。これらの背景には文治政治の浸透や平和の実現そして参勤交代や鎖国などの政治的事情がある。			
本時の目標	生産・流通・販売・消費の諸側面の有機的な結びつきにより経済発展が実現したことを多角的かつ大局的に理解させるとともに、その政治的・制度的背景についても既習内容を振り返りながら気づかせる。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
マインドマップ作成における班活動に積極的に参加できる。	全国市場確立の要因を論理的・多角的に考えマインドマップに表現し発表できる。	生産・流通・販売・消費拡大の根拠を教科書や資料集から見つけ出すことができる。	全国市場確立が実現した要因をキーワードを入れ文章にまとめることができる。	
指導内容	学習活動	指導上の留意点	観点	評価方法
白板配付	・班活動準備			
①テーマ提示・板書 ・「全国市場」と板書 ・全国市場を前代までと比較して説明。	・班に貸与された白板中央に「全国市場」と大書。 ・定義を探す。	「全国市場」とは「城下町・港町を中心に全国を結ぶ商品流通市場」	【関】 【技】	観察
②班活動1指示 ・計時 ・指示確認 ・発表者選出指示	・教科書・資料集を前に要因を話し合う ・白板にマインドマップを書き込む	・活動時間10分 ・不活発な班には教科書の該当頁の読解を指示する。	【関】 【思】 【技】	観察 白板
③発表指示 発表内容の板書	・班ごとに発表 ・ノートにまとめる	用語だけでなく根拠も説明させる。	【思】 【知】	意見発表 観察
④発表内容の分類 ・分類を色分けする Q 分類の基準は何か	・分類基準を答える ・黒板のマインドマップで授業に参加	・発表時に分類別に板書(4分類) ・分類名も板書。	【思】	意見発表 ノート
⑤班活動2指示 Q 江戸時代特有の要因や背景とは何か Q 全国市場に繋がる時代特有の要因は何か	・「文治政治」、「鎖国」などの解答。 ・班で再度話し合う	・活動時間は5分 ・既習内容から根拠も考えさせる。 ・資料集や教科書を図版・記述参照	【関】 【思】 【技】	観察
⑥発表指示 Q なぜ参勤交代が全国市場確立を促したか ・地方・大坂・江戸の三角関係図(右図)を板書する。	・挙手で発表 ・「一年毎の江戸在府で莫大な出費(消費)をしたから」 ・「蔵元や掛屋により蔵物取引や送金が行われ地方・大坂・江戸が結ばれたから」 ・「移動に伴う出費」	参勤交代資料提示 札差 江戸 問屋  参勤 送金↑ 交代 商品↑  ←送金 地方 蔵物・納屋→ 大坂 蔵元・掛屋	【思】 【知】	意見発表 ノート
⑦まとめ ノートに文章化指示	ノートに問の答えを文章で記入する。	キーワードを使ってまとめる。	【知】	ノート

